

I. 大会実行委員会からのお知らせ

大会実行委員長 山田友幸

1. 日本科学哲学会第39回(2006年度)大会〔場所:北海道大学・札幌キャンパス〕のプログラムについて

今年度大会のプログラムは、以下を予定しています(各プログラムの開始時刻、ワークショップ題目等の変更がありうることをご了承下さい)。

10月21日(土)

研究発表(9:30-12:00)

理事会・評議員会・大会実行委員会(12:00-13:15)

総会(13:15-13:45)

特別講演(14:00-15:00)

講演者 中垣俊之(北海道大学助教授 北海道大学電子科学研究所/北海道大学創成科学研究機構)

シンポジウム(15:15-17:45)

「現代数学の論理的・哲学的基底」

司会 竹内泉(産業総合技術研究所)

提題者 田中一之(東北大学)、石原哉(北陸先端科学技術大学院)、岡本賢吾(首都大学東京)

懇親会(18:00-20:00)

10月22日(日)

研究発表(9:30-12:00)

理事会・編集委員会・大会実行委員会(12:15-13:15)

特別講演(13:30-14:30)

講演者 Cho, In-Rae (Professor, Department of Philosophy, Seoul National University/ 現在
Korean Society of Philosophy of Science 会長)

ワークショップ(14:45-17:00)

I. 経験科学としての言語学を目指して

オーガナイザ・提題者 上山あゆみ(九州大学)

提題者 Hoji, Hajime [傍士元](南カリフォルニア大学)、峯島宏次(慶応大学大学院)

II. 生物学の哲学の現状と展望

オーガナイザ 松本俊吉(東海大学)

提題者 森元良太(慶応大学)、大塚淳(京都大学)、三中信宏(農業環境技術研究所/東京大学)

III. 認識論および信念論の最前線

オーガナイザ・提題者 鈴木聡(駒澤大学)

提題者 金子守(筑波大学)、長田怜(東京大学)
IV. ウィトゲンシュタイン: その生と思想から受け取りうるもの
オーガナイザ 関口浩喜(福岡大学)
提題者 鬼界彰夫(筑波大学)、星川啓慈(大正大学)、丸田健(大阪大学)

2. 研究発表者の募集について

今年度大会の研究発表の希望者を募ります。希望される方は、発表要旨〔B5 版用紙 1 枚にワープロで 800 字程度、上部に題目・氏名・所属を明記のこと——ご提出頂いた原稿をそのまま予稿集の版下とします——〕添付の上、8 月 25 日まで(必着)に事務局宛にお申込下さい。今年度から電子データ(eメール上での添付ファイルまたはフロッピーディスク)でのお申込も受け付けます。本学会ホームページで「第 39 回大会 研究発表要旨作成上の注意」を公開しておりますので、そちらもご参照願います。

採否ならびに発表の通知は 9 月 11 日頃に eメールで行います。メールアドレスをお持ちでない方には郵送いたしますので、送付先を明記くださるようお願いいたします。

発表期日および時刻は、プログラム編成の観点から大会実行委員会で決定いたします。特定の日付・時刻を希望されても応じられませんのでご承知おきください。

3. プログラムの発送について

プログラム、出張依頼状、会場周辺図(附:交通案内)は 9 月末頃に発送いたします。シンポジウムおよびワークショップ資料はホームページに掲載の予定です。

II. 編集委員会からのお知らせ

編集委員長 佐藤徹郎

1. 『科学哲学』第 39 巻 2 号(2006 年 12 月発行予定)の特集テーマについて

ニューズレター No.32 でお知らせした次号の特集テーマ「相対性理論 100 年」への応募論文は、2006 年 7 月 11 日をもって締め切りとなりました。ただし、自由応募論文としてこのテーマに関連する論文をご投稿いただくことは、引き続き可能です。その際、次号に掲載可能な期日内で審査を終えることができない場合がありますのでご承知おきください。

2. 自由応募論文について

自由応募論文は随時受け付けています。なお「論文応募要領」3にある通り、論文本体(これはレフェリーに転送されることとなります)には論文タイトル(日本語と英語)と英文要旨のみを付けることとし、著者氏名と所属については、別に添付した表紙に記してくださるようお願い申し上げます。

〒192-0397 首都大学東京大学院 人文科学研究科 哲学教室内
日本科学哲学会事務局
fax. 042-677-2073 (「日本科学哲学会」宛であることを明記して下さい。)
e-mail. philsci@comp.metro-u.ac.jp
URL. <http://wwwsoc.nii.ac.jp/pssj/index.html>